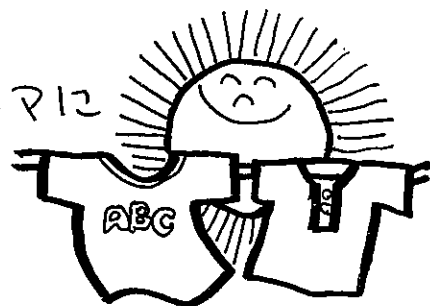


今まで3回にわたって

「原発事故と私たちの暮らし」をテーマに

連続学習会を してきました。

その内容を ふり返ってみます。



第1回 2011年9月28日

井関道夫先生、斎藤 真先生の講演から



放射能・原発についての 基礎知識を学び、福島で何が起きたのかを、わかりやすく解説していただいた。
放射性物質の食品汚染について学び、科学的な面からの基準について計算方法など 初めて知りました。

第2回 2012年2月4日

安斎育郎先生の講演から

私たちは 放射能とどう向きあうか？
「放射線がんあたりくじ!？」を ばらまいた 私たちの
未来世代に対する 申し訳なさと、責任。
「過度に 恐れず、事態を 悔らず、理性的に 恐がる」という 試練に
さらされている時代。



第3回 2012年8月9日

高野 雅夫先生の講演から

原発に頼らないくらしをしていく上で、エネルギーのあり方やくらしの見直しをするという 呼びかけが 今大切だということお共有できた。
それは 我慢する生活ではなくて、エネルギーを際限なく使うくらしの無駄を なくし、くらしのあり方を工夫して 楽しく変えることだ。



若い、子育て中の方の心配に応えることが大切

感想より、

エネルギー政策について国民は何も聞かれず
政府が決めてきた。私たちの未来のために
政策について意見を発信すべき！

3.11以降

和が"とくんだ"と
一部、紹介します。

・減アンプ

電力会社に連絡すれば
年に一度無料で実施してもらえる

・照明 **すべてLED**に変更、

・サニールームの妻を増し

夏涼しく、冬暖かく
馬鹿者もなくなりました

飯村初美



「食と農」「環境」パネルのメンバーは
「原発事故と私たちの暮らし」の連続
学習会を通して、学習すること、おしゃべ
りして考えあうことの大切さを学び
ました。

今回は、

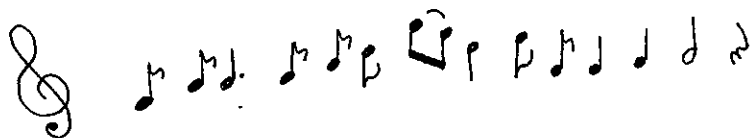
「どう私たちの暮らしを見直すのか？」

いろいろな思いや、暮らしの工夫—実践
できることを発信できるようにしたい
と思います。

3回の学習会に参加して

考えたこと！やっていること！ギモンに思っていること！

4回目で、—— 答えが見つかるかも……♡



日本語の発音は 高い低いで表わされます。

童謡の音階は 日本語の発音と大切に作られ
ています。作曲家の山田耕作は特にそこに
注意し曲を作ったそうです。「赤蜻蛉」を歌
うと良くわかります。

長く活かされてきた日本の文化には、一つ一
つの意味があります。その意味をきちんと伝えない
まま「こちらのほうが便利だから」と切り捨てら
れてきたものの中に大事なものが沢山ある気が
してなりません。

今までの3回の学習・交流の中で「原発事故を
理解し、どう私たちの暮らしを見直すか」を考えて
きました。今回 4回目には さらに沢山の皆
さんの知恵を頂戴。広めたいなあと 思います。
切り捨てられてきたものの中に、ヒントがあるような
気がしませんか？ 是非御参加下さい。

山口直子

太陽光発電

クリーンだし、'太陽光'ただだし
いいなあ。

でも、うちの屋根ではムリらしい。

そんなにお金かけなくても

（できることはないのかなあ？）

省エネ・節電って言われると、

エアコン 消さなくちゃって

考えてしまうけれど……

やがて家の体力のないお年寄りの

身体に暑い夏はきびしい！

省エネ・節電、何をどうすれば

よいのでしょうか？

もっと遊ぼう

生き方そのものを考える（変える）

必要か？あると 思っている。

経済システムに取りこまれて

こんなには働かざるがりの暮らし

人間として いいことなのかな！

田中